

インフォメーションディスプレイ Vol.30



株式会社 河野総合経営システム
代表取締役

河野 仁博 様

天満研修センター 様

大阪の中心部にほど近い場所にある天満研修センター様は、最大3,496名収容可能／大中小合わせて67のホールや会議室で構成される貸しスペースの施設です。各部屋へのブロードバンド／衛星放送アンテナの導入やAQUOSなどの薄型TVの設置など、OA／AV機器の充実を図られています。



所在地：大阪府大阪市

インフォメーションディスプレイは付加価値が高い機器。
お客様へのご案内のほか、さまざまな情報が発信できます。

PN-465

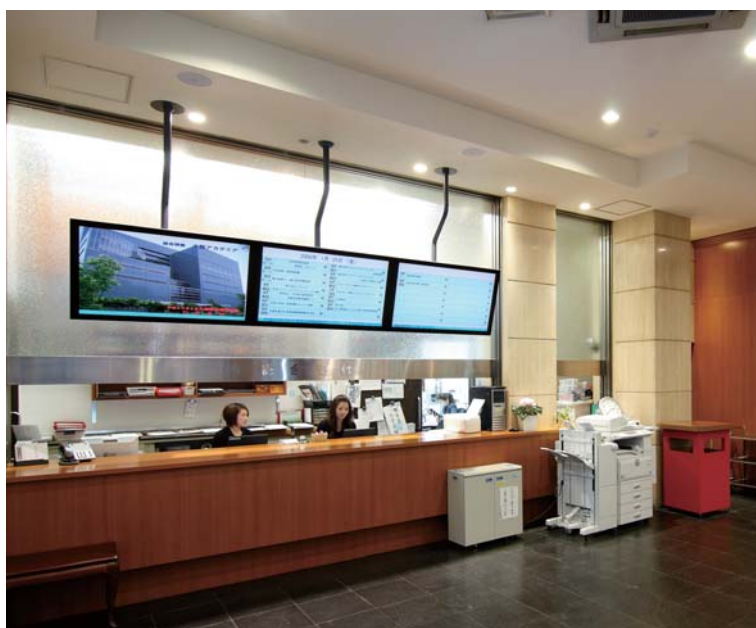
3台導入
(エントランスホール)

JR大阪駅から1駅、JR天満駅から徒歩2分という好立地にある天満研修センター様は平成3年にオープン。この施設は普段でも1日数千人の利用者があり、企業が会議や研修として利用するほか、大学のセンター入試や面接など、普段から多くの方が利用されています。

従来は、会場のご案内や会議内容のご紹介を手書の文字で行っておりましたが、情報発信の効率化と情報の質の向上を図る目的でインフォメーションディスプレイを導入されました。3面マルチ連続設置で1面では出せない迫力のある映像に加えて、スピーカーも設置することで、静止画や文字のみならず、音声も含めた情報発信が可能になりました。



エントランスに設置された
インフォメーションディスプレイ。



導入時の評価ポイント

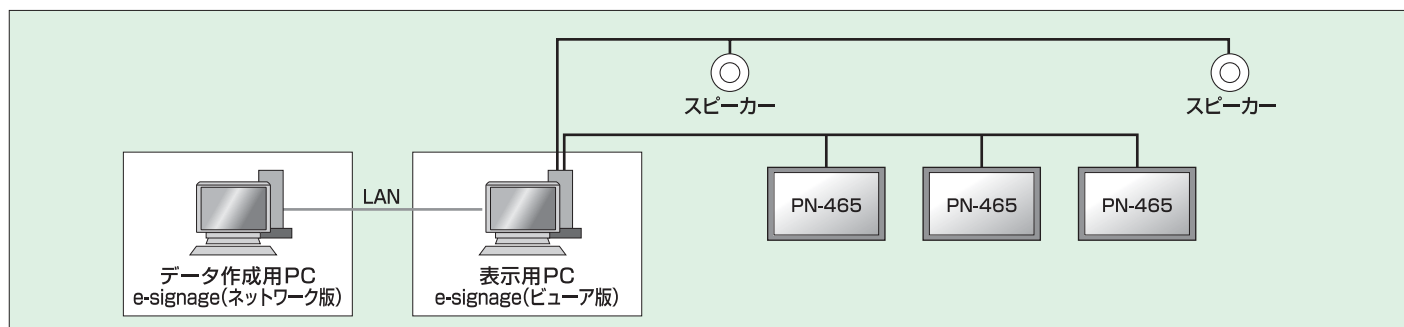
- たくさんの文字情報もクッキリと表示できる
フルスペックハイビジョン(1,920×1,080画素)の高解像度

- 明るい場所でも反射や映りこみが少ない
ASV低反射ブラックTFT液晶

- どんな位置からでも見やすい
上下左右176°の広視野角

- 表示内容の作成や変更が手軽にできる
コンテンツ配信／表示システム『e-Signage』の操作性
(イーサインエジ)

■ システム概略図



導入の経緯

絵や文字はもちろん、音や動きも扱える
インフォメーションディスプレイ。

「付加価値が非常に高いところと、サインとしても非常に有効だったところがよかった。」
「絵や文字、音、動きなど全てを扱えるものとして一番進んでいる。」ことがポイントだったとのことでした。

また「分かりやすさ」もポイントの一つと話されます。解像度の高いディスプレイでは、小さな文字もはっきりと映し出せ、従来の手書き文字に比べて、非常に見やすくなったとのことでした。さらに河野氏は分かりやすさを高めるため、ディスプレイ

での情報表示にプラスし、ナレーションによる会場案内も検討されているようです。



見やすい位置に設置されたインフォメーションディスプレイ。

音を出すためのスピーカーも設置されている。設置用の吊り金具はお客様が見やすい位置に固定できるように河野氏がこだわりを持って作られた特注品。

導入後の感想

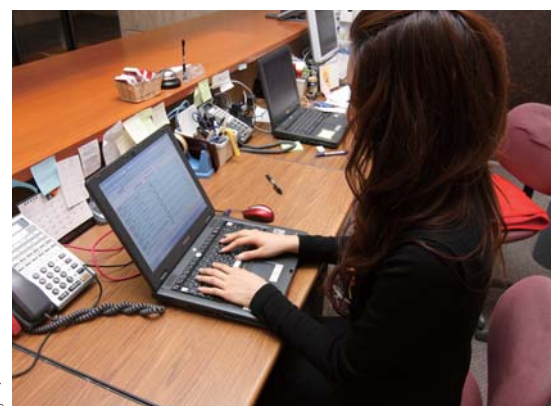
インパクトや信頼性があるのいい。
e-Signage(イーサインエージ)を使用することで
情報の作成や変更が簡単にできるようになりました。

「色や解像度がいいのはもちろんいいし、インパクトや信頼性もあります。」と河野氏。さらにオペレーションの部分でも、使いやすいとおっしゃいます。

天満研修センター様は、従来までお客様への会場案内などの情報は全て手書きで行われていました。これではいろいろな人が手で書くので状態は一定ならず、また急な会場変更にはすぐには対応できなかったそうです。「インフォメーションディスプレイ導入後は、表示も一定で非常に見や

すくなり、また急な変更にもすぐに対応できます。コピー&ペーストでデータを流用するなど、情報発信の手間を格段に減らすことができ、お客様のニーズにも応えられます。」とおっしゃいます。

各フロントのスタッフが、手元にあるPCで直接情報を更新する。



今後の展開予定

系列施設にも導入決定。
今後は媒体としても活用したい。

「今度新しくオープンする施設にも導入します。既存の施設にも、もう場所は空けています。」
続けて「本分ではないことはしませんが…」と前置きされた上で、「広告媒体として利用

すれば面白いと思う。」と話されました。天満研修センター様は、企業の会社説明会等でも利用されることがあり、「企業のメッセージを、映像と音の両方でご来場者に

発信するなどの使い方もあるのでは」と、利用範囲はますます広がっているようです。

● お問い合わせは

シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2008年2月発行